

平成29年度
事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

学校法人 大阪成蹊学園

目 次

I. 法人の概要

1. 沿革
2. 設置学校
3. 役員・評議員

II. 経営計画における報告

1. 新設学科等の計画
2. 将来構想の取組み及び教育研究環境の向上
3. 学園各校の募集目標の達成
4. 就職率の目標達成
5. 平成29年度中期経営計画の収支目標の達成

III. 学校部門における報告

1. 高等教育機関
2. 大阪成蹊女子高等学校
3. 大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

IV. 財務の概要

1. 資金収支計算書
2. 活動区分資金収支計算書
3. 事業活動収支計算書
4. 貸借対照表
5. 財務比率経年比較
6. 事業活動収支決算科目別割合
7. 学校法人会計の特徴及び企業会計との違い

V. 学生数・教職員数データ

1. 志願者数及び入学者数
2. 在籍学生等数
3. 教職員数

I. 法人の概要

【建学の精神】 桃李不言下自成蹊

「成蹊」の名称は、中国の司馬遷の『史記』に由来しています。

「桃や李は何も言わないが、その美しい花や実にはひかれて人が集まってくるので木の下には自然と小道(蹊)ができる」という意味です。

徳が高く、尊敬される人物のもとには徳を慕って人々が集まってくるという譬えです。

本学園では、『史記』の一節であるこの言葉を「建学の精神」として、徳があり、人に慕われ、信頼される人を育てることを教育の目標としています。

建学の精神の行動指針として、『忠恕』の精神を定めています。

「忠」は誠実、「恕」は思いやりを表わし、誠を尽くし人の立場になって考え行動するという意味です。

本学園では、建学の精神を実践するにあたり、「忠恕」を行動の指針としています。

1. 沿革

昭和 8年 4月	高等成蹊女学校 創設
昭和12年 4月	大阪高等成蹊女学校に校名変更
昭和13年 4月	財団法人 大阪成蹊学園 設立 大阪成蹊高等女学校 開設
昭和23年 4月	学制改革により大阪成蹊女子高等学校となる
昭和26年 3月	私立学校法制定により財団法人大阪成蹊学園から学校法人大阪成蹊学園となる
昭和26年 4月	大阪成蹊女子短期大学（国文科・家政科）開設
昭和27年 4月	大阪成蹊学園こみち幼稚園 開設
昭和31年 4月	大阪成蹊女子短期大学初等教育科 開設
昭和38年 4月	大阪成蹊女子短期大学体育科 開設
昭和39年 4月	大阪成蹊女子短期大学英文科 開設
昭和42年 4月	大阪成蹊女子短期大学観光科、デザイン科 開設
昭和46年 4月	大阪成蹊女子短期大学初等教育科を児童教育学科に、国文、家政、体育、英文、観光、デザイン各科をそれぞれ学科に改称
昭和50年 8月	幼稚園名を大阪成蹊女子短期大学附属こみち幼稚園に改称
平成14年 4月	成安造形短期大学を設置者変更により傘下に受入
平成15年 4月	大阪成蹊大学現代経営情報学部（大阪市東淀川区）、芸術学部（京都府長岡京市）開設 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部（滋賀県大津市北比良）開設 大阪成蹊女子短期大学を大阪成蹊短期大学（共学）に、幼稚園名を大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園に改称 大阪成蹊短期大学表現文化学科、経営会計学科を開設 大阪成蹊短期大学家政学科を総合生活学科に改称
平成18年 4月	大阪成蹊大学芸術学部美術・工芸学科、デザイン学科を情報デザイン学科、環境デザイン学科、美術学科に改組
平成23年 4月	大阪成蹊大学現代経営情報学部現代経営情報学科をマネジメント学部マネジメント学科に改称 大阪成蹊短期大学表現文化学科を創造文化学科に改称

平成24年 4月	大阪成蹊大学芸術学部を相川キャンパスに移転・統合 びわこ成蹊スポーツ大学大学院 開設
平成26年 4月	大阪成蹊大学教育学部開設 大阪成蹊短期大学児童教育学科を幼児教育学科に改称 大阪成蹊短期大学創造文化学科をグローバルコミュニケーション学科に改称
平成27年 4月	大阪成蹊大学芸術学部美術学科を造形芸術学科に改称 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部スポーツ学科 開設
平成28年 4月	大阪成蹊大学マネジメント学部スポーツマネジメント学科 開設 大阪成蹊短期大学生活デザイン学科、調理・製菓学科、栄養学科 開設 大阪成蹊女子高等学校美術科 開設

2. 設置学校

学 校 名	学部・学科名	所 在 地
大阪成蹊大学 〔学長 武蔵野 實〕 平成 25. 4. 1～	マネジメント学部 マネジメント学科 スポーツマネジメント学科 芸術学部 造形芸術学科 教育学部 教育学科	大阪市東淀川区相川 3-10-62
びわこ成蹊スポーツ大学 〔学長 嘉田 由紀子〕 平成 26. 10. 1～29. 9. 30 〔学長 入口 豊〕 平成 29. 10. 19～	大学院 スポーツ学研究科 スポーツ学部 スポーツ学科	滋賀県大津市北比良 1204
大阪成蹊短期大学 〔学長 南 徹弘〕 平成 27. 10. 1～30. 3. 31	幼児教育学科 観光学科 グローバルコミュニケーション学科 経営会計学科 生活デザイン学科 調理・製菓学科 栄養学科	大阪市東淀川区相川 3-10-62
大阪成蹊女子高等学校 〔校長 紺野 昇〕 平成 25. 4. 1～30. 3. 31	普通科 キャリア進学コース キャリア特進コース 幼児教育コース スポーツコース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース	大阪市東淀川区相川 3-10-62
大阪成蹊短期大学 附属こみち幼稚園 〔園長 東藤 弥生〕 平成 26. 4. 1～30. 3. 31		大阪市東淀川区井高野 4-8-8

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

3. 役員・評議員

【 役員 】

理事長	石 井 茂	総長
専務理事	佐 藤 英 夫	
常務理事	久 保 健	びわこ成蹊スポーツ大学事務局長
理事	武蔵野 實	大阪成蹊大学学長
理事	入 口 豊	びわこ成蹊スポーツ大学学長
理事	南 徹 弘	大阪成蹊短期大学学長
理事	紺 野 昇	大阪成蹊女子高等学校校長・大阪成蹊短期大学副学長
理事	三 村 寛 一	大阪成蹊大学副学長・教育学部学部長
理事	國 方 太 司	大阪成蹊大学副学長・マネジメント学部学部長
理事	豊 田 則 成	びわこ成蹊スポーツ大学副学長・ 大学院スポーツ学研究科長
理事	中 野 友 博	びわこ成蹊スポーツ大学副学長・スポーツ学部学部長
理事	門 脇 英 純	大阪成蹊大学芸術学部学部長
理事	宮 地 茂 樹	経営企画本部本部長
理事	山 本 昌 直	法人事務本部本部長・リスク管理統括本部本部長
理事	澤 谷 和 宏	経営企画本部副本部長・I R推進室室長
理事	礪 川 正 明	
理事	脇 阪 惠 博	
常任監事	山 中 俊 廣	
監事	湯 浅 光 章	
監事	早 川 芳 夫	

【 評議員 】 35名（理事長・学長・評議員選出理事含む）

（平成30年3月31日現在）

Ⅱ. 経営計画における報告

1. 新設学科等の計画

(1) 大阪成蹊大学

- ① 大学院教育学研究科教育学専攻（修士課程）の開設
平成 30 年 4 月開設予定で、大学院の設置認可申請（入学定員 5 人）を行なった。
- ② マネジメント学部国際観光ビジネス学科の開設
平成 30 年 4 月開設予定で、国際観光ビジネス学科の届出（入学定員 60 人）を行なった。
- ③ 教育学部教育学科中等教育専攻の開設
平成 30 年 4 月開設予定で、教育学部教育学科に中学校・高等学校教諭第 1 種免許状（英語・保健体育）の免許取得が可能な中等教育専攻英語教育コース及び保健体育教育コース（入学定員 60 人）の開設準備を行なった。
- ④ 収容定員の増加
平成 30 年 4 月予定で、マネジメント学部及び教育学部の入学定員を、各々 60 人増員する収容定員の増加に係る学則変更の認可申請（入学定員 120 人増、収容定員 1,928 人→2,408 人）を行なった。

2. 将来構想の取組み及び教育研究環境の向上

(1) 将来構想の取組み

- ① 芸術学部造形芸術学科ゲーム・アプリケーションコースの開設
平成 31 年 4 月開設予定で、芸術学部造形芸術学科にゲーム・アプリケーションコースの開設準備（履修学生 25 人）を行なった。
- ② 収容定員の増加
平成 31 年 4 月予定で、芸術学部造形芸術学科にゲーム・アプリケーションコース（履修学生 25 人）の開設、美術コース（履修学生 15 人）と表現教育コース（履修学生 15 人）を美術・アートコース（履修学生 25 人）に改組、及び造形芸術学科各コースの募集人員の見直しを行なうとともに、入学定員を 13 人増とする収容定員の増加に係る学則変更の認可申請（入学定員 13 人増、収容定員 710 人→762 人）を行なった。

(2) 教育研究環境の向上

- ① 高校美術棟の新築（平成 30 年 3 月竣工）
- ② びわこ成蹊スポーツ大学の中央棟の新築（平成 29 年 7 月竣工）、commons（クラブハウス）の改修、陸上競技場の改修
- ③ 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学グローバル館の新築構想（平成 31 年 3 月竣工）

3. 学園各校の募集目標の達成 (単位:人)

平成29年度の募集目標を以下のとおり達成した。

●大阪成蹊大学

年度	学部 学科	マネジメント学部			芸術学部	教育学部	大学院
		マネジメント学科	スポーツ マネジメント学科	国際観光 ビジネス学科			
30	入学定員	70	110	60	177	180	5
		1	1		1	5	
	志願者数	330	250	191	270	1043	7
		3				1	
入学者数	86	120	61	195	195	7	
	1				0		

下段:33年次編入

●ひつこ成蹊スポーツ大学

年度	学部	スポーツ学部	大学院
30	入学定員	360	10
	志願者数	766	5
		3	
入学者数	418	5	
	2		

下段:33年次編入

●大阪成蹊短期大学

年度	学科	幼児教育学科	観光学科	グローバルコミュニケーション学科	経営会計学科	生活デザイン学科	調理・製菓学科	栄養学科	合計
30	入学定員	300	90	30	50	50	120	120	760
	志願者数	359	147	70	103	77	146	119	1,021
	入学者数	297	103	34	59	52	126	91	762

●大阪成蹊女子高等学校

年度	学科	普通科				美術科	合計
		キャリア特徴コース	キャリア進学コース	幼児教育コース	スポーツコース		
30	募集定員	30	150	90	30	60	360
	志願者数	117	497	308	89	168	1,179
	入学者数	50	170	154	56	75	505

●こみち幼稚園

年度	募集定員	志願者数	入園児数
30	90	62 (6)	62 (6)

() 内は3歳児5歳児の計 (外数)

4. 就職率の目標達成

平成29年度卒業生の就職率目標を以下のとおり達成した。

大阪成蹊大学				ひつこ成蹊スポーツ大学	大阪成蹊短期大学								学園合計
マネジメント学部	芸術学部	教育学部		生活デザイン学科	調理・製菓学科	栄養学科	幼児教育学科	観光学科	グローバルコミュニケーション学科	経営会計学科			
99.0%	98.6%	98.7%	100%	99.6%	99.5%	100%	99.1%	99.0%	100%	100%	96.2%	100%	99.4%

5. 平成29年度中期経営計画の収支目標の達成

平成29年度の収支目標を以下のとおり達成した。

(単位:百万円)

		平成29年度	
			計画比
収入	学生生徒等納付金	6,626	85
	その他	2,112	262
	教育活動収入合計	8,738	347
支出	人件費	4,849	△116
	教育研究経費	2,478	137
	管理経費ほか	734	49
	教育活動支出合計	8,061	70
教育活動収支差額		677	277
基本金組入前当年度収支差額		561	290

Ⅲ. 学校部門における報告

1. 高等教育機関

1-1. 大阪成蹊学園に設置の各高等教育機関における教育の質保証に向けた取組みについて

大阪成蹊学園の教育理念は、「人間力」を育む教育である。いま、そしてこれから、国際情勢が目まぐるしく変わり、未曾有の技術革新の時代に突入する世界では、若者はこれまで以上に急激な、様々な価値の変化に直面する。それでも、建学の精神「桃李不言下自成蹊」を体現する優れた「人間力」を備えていれば、多様な人々との関係性の中で新たな価値を創造して、社会で活躍し、人生を豊かに生きることができると本学園は考えている。

学校教育における質の保証は、単に形式的な制度改革ではなく、「人を育てる」ために必要なあらゆる教育的価値の改革を指す。その意味で、強固な教学ガバナンス体制の構築が前提となる。本学園では、理事長・総長、学長、校長、園長の各校のトップがリーダーシップを発揮して、「人間力」教育の理念のもとに、各学校間の連携を深めつつ、様々な教学の改革を行っている。また、改革を推進する柱となる教員と職員においては、FD・SDを徹底して、教職員一人ひとりが、「社会に対する学校の使命を自らの職務遂行における使命と捉えること」「どこと比べても、最良の教育をしているかを自らに常に問いかけること」「妥協や現状の追随を排して、理想の実現をめざすこと」を行動原理とすることとして、教職協働による最大限の改革成果を生み出すことをめざしている。「学生の『人間力』を高めるためには何が最良か」という問いに常に立ち返りながら、組織的な教学改革を推し進める体制が整っている。

総長を議長とする教学改革会議のもと、大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学の各校で、才気溢れる若手教員と豊富な教育研究実績を持つ中堅・ベテラン教員による20以上の教学改革プロジェクトチームを編成して、「入学者選抜」「教育課程」「卒業研究」「シラバス」「授業方法」「成績評価方法」「各種アンケート調査」「グローバル教育」「正課外教育」等に関する様々な改革案を立案し、実行してきた。いずれのプロジェクトも、学生が能動的に、主体性を持って、他者と協働しながら学びを深めていき、「人間力」を身につけるために必要な改革を志向するものである。例えば、シラバスは、学生が履修の前に読む際に、当該授業の目的や到達目標、各回の授業内容、授業方法の特性等を具体的にイメージでき、授業の前後でどのような学修をどの程度する必要があるかを理解できるものとなるように、様式や項目、記載方法から第三者によるチェック体制までを一新している。またカリキュラムは、学生の「人間力」を育み、ディプロマ・ポリシーを達成する上で必要な体系性を持ち、いっそう効果的であるように、全ての開講科目の適切性、授業内容、教員配置等を見直している。今後は、各改革をよりマイクロレベルに浸透して実施を徹底していくとともに、当初の改革目的を達成できているか、学生がどのように変化してきたか、学生の自身の成長に対する実感や授業に対する満足がどのように変化したか等を、客観的な指標をもって検証し、施策の改善につなげていくことが教学改革のメインテーマとなる。

学生の人生や社会にとってより価値のある教育を実現して、多くの優れた人材を育て、輩出し、学生、卒業生、保護者、教職員が誇ることのできる大学、多くの高校生に選ばれる大学、社会の人々に評価される大学となり、少子化の中にあっても必要とされる質の高い教育機関となることが、本学園のめざす教育機関の姿である。

1-2.

(1) 教育の充実に関する取組み

①大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学

ア 学生が能動的・主体的に学ぶことのできる、教員と学生、学生同士のコミュニケーションを重視したアクティブラーニング型授業を全学的に展開した。

イ アドミッション・ポリシー「求める人物像」に合致する受験者を、より適切に選抜できるよう入学者選抜方法を見直し、実施した。

ウ より優れた卒業研究や卒業制作ができるよう研究指導の体制や方法を見直し、全学的に実施した。

エ 企業や自治体等との連携により、社会との関わりの中で課題を解決したり学びを深めたりする授

業の量的拡大、質的向上を図った。

- オ グローバル教育推進のために、英語教育センターの開設準備、グレードの開設、海外研修・留学制度の充実、世界で専門性を深めるグローバルアクティブラーニングプログラムの充実等を図った。
- カ 卒業論文発表会や卒業制作展、プレゼンテーション大会や読書コンクール、ピアノコンペティション等を開催して、学生が学びの成果を発揮する機会を充実した。
- キ 授業の質をいっそう高めるため、学生による授業評価を重視して、学生の授業に対する満足度、その他学修傾向等の変化の検証をするとともに、全ての教員が授業評価アンケート結果を踏まえた授業改善に取り組んだ。
- ク シラバスにおいて成績評価方法や基準、尺度等を明確にするとともに、ルーブリックの活用方針や成績評価分布の目安となる割合を全学的に定める等して、不公正な評価や著しい偏りのない成績評価を徹底した。
- ケ 全授業のシラバス作成において、ディプロマ・ポリシーと対応した養う力と到達目標、授業で用いられるアクティブラーニングの手法、事前・事後の学修課題・学修時間、学外の連携先、成績評価の方法や基準等、教学改革の取組みも反映した記載項目の設定と、厳密なチェック体制を構築する等して、学生にとってより分かりやすいシラバスの作成を徹底した。
- コ より体系的で効果的なカリキュラムとなるよう、入学前教育を含む初年次教育、キャリア教育、教養教育、専門教育の各開講科目、授業内容、教員配置等を抜本的に見直し、平成 31 年度のカリキュラム改訂に向けて準備を進めた。
- サ 正課外における学修環境の充実のため、ラーニングコモンズにおける開講プログラムや ICT 機器、学修相談支援の充実を図った。
- シ 学修時間や読書時間等学生生活の実態や、施設設備、学生支援等に対する満足度、各種制度等に対する認知等を明らかにする学生生活調査アンケートを実施して、検証の上、改善に取り組んだ。
- ス 授業の内外でパーソナル・ブランド・マネジメントプロジェクトに基づく指導を展開し、「品格と人間力」を高める授業運営、学生指導を全学的に徹底した。
- セ 教育の質的転換を支え、実現することのできる教職員の職能開発をめざして、全学 SD を開催するとともに、FD・SD の制度、プログラムを一新した。
- ソ IR 推進室との連携のもと、教育の質的転換に向けて必要な教学情報の収集や、教学改革の成果を検証する各種指標の設定、検証等を実施した。
- タ 優れた授業実践を展開する教員や、大学運営等に係る顕著な活躍が見られる教員を表彰する等して、教員同士が相互に研鑽して学び合う文化を形成した。
- チ 併設校及び近隣の高等学校との間で、専門教育プログラムの提供等を中心に教育連携を図った。

(2) 「学生指導の強化」に関する取組み

① 大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学

- ア 「学園ブランド力向上運動」のいっそうの充実を図るため「パーソナル・ブランド・マネジメント」の解説書を発刊し、取組みを強化した。
- イ アドバイザー教員制度、チューター制度による指導、支援を強化した。
- ウ 学生課、学生支援センター、留学生支援センター、学生相談室が連携し、学生への指導、支援を強化した。
- エ クラブ、サークル、ボランティア等課外活動の活性化を図った。
- オ 学生の地域行事、学外イベント等への積極的な参加を支援した。

② びわこ成蹊スポーツ大学

- ア 学生の修学状況の把握による個別指導、支援を徹底した。
- イ クラブ顧問やコーチ等課外活動の指導体制を強化した。
- ウ クラブの新設、サークル、ボランティア等課外活動の活性化を推進した。

(3) 「就職支援の強化」に関する取組み

① 大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学

- ア 大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学合同の就職懇談会等を開催し、企業の

- 人事担当の方々の本学への教育・人材育成方針に対する理解を深め、学生の就職支援につなげた。
- イ 就職部アドバイザー及びキャリアカウンセラーによる就職相談体制を強化した。
- ウ 学内企業説明会及び新規企業開拓の強化により企業とのマッチングを推進した。
- エ 教育学部1期生の小学校教員希望者において、就職内定率100%を達成した。
- オ 学生の教育効果及び就労意識の向上につながるインターンシップを促進した。

② びわこ成蹊スポーツ大学

- ア 大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学合同の就職懇談会等を開催し、企業の人事担当の方々の本学への教育・人材育成方針に対する理解を深め、学生の就職支援につなげた。
- イ 教職希望学生に対し、教職支援室を設置し、教員採用試験対策を充実させた。
- ウ 企業希望学生に対し、2年次から企業への訪問・インタビューを実施し、学生の就職等に関する視野拡大や意識向上を図った。

(4) 「募集の活性化」に関する取組み

① 大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学

- ア 学部、学科の特色を活かす等、オープンキャンパスの内容の充実に努めた。
- イ ホームページ等、学校の魅力に加え、学部、学科の特色を伝える広報ツールを充実させた。

② びわこ成蹊スポーツ大学

- ア OB等による特別講演等を盛り込んだ特色あるオープンキャンパスを実施した。
- イ ホームページ等、学校の魅力に加え、コースの特色を伝える広報ツールを充実させた。

2. 大阪成蹊女子高等学校

(1) 「学校教育力の向上」に関する取組み

① 学力向上に向けた教員の指導力強化対策

- ア 教員の目標設定に対する自己評価、管理職による授業観察及び生徒授業アンケート結果等による客観的な数値評価を加味し、教員の総合評価を実施した。
- イ 優秀教員表彰規程を改定し、教科指導区分でアンケート評価の高い優秀教員を表彰し、教員の意欲の向上と授業改善の意識啓発につなげた。
- ウ 公開授業と研究授業を実施し、教員の指導力強化を図った。
- エ 経験年数が短い教員への研修会を実施し、教員のスキルアップを図った。

② 学力の定着に向けた教科指導の充実

- ア インターネット型自主学习を目標どおり運用し、次年度の学習達成度の向上につなげた。
- イ 自主参加型の復習講習会を実施し、生徒から学習満足度について高い評価を得た。

③ 人間力育成

- ア 授業や課外活動、生活指導等の中で、社会人基礎力や他者への思いやりを養い、人間力を育む指導を徹底した。また、ロングホームルームでの人権学習のほか、校長講話の中で、建学の精神を踏まえた行動指針「忠恕」や人とのコミュニケーションの重要性について説明した。

④ グローバルなキャリア教育の推進に関する取組み

- ア 台湾の提携校である金陵女子高級中学と第2回国際交流事業を実施し、国際交流活動として充実した内容となり、大きな成果があった。
- イ 教育系コースの学びの充実をねらいとして、ユネスコスクールへ加盟し、日本ユネスコ委員会の承諾を得て、全国大会等に教員が参加した。
- ウ ニューヨーク研修を実施し、海外で活躍する日本人によるロールモデル学習を実施した。

⑤ 使える英語力の向上に関する取組み

- ア 放課後にベルリッツの英会話教室を導入し、平均出席率も高く、生徒の語学力向上に寄与した。
- イ 英語検定をスコア型のGTECに変更し、毎年実施するGTECのスコアの伸びを検証して、英語力向上を図ることとした。
- ウ 少人数制のALT（外国語指導助手）を活用した英語表現授業は、生徒に大変好評であり、ALTを2名配置して、実施コースを拡大した。
- エ オーストリア語学研修やセブ島語学研修実施に加え、研修とセットでTOEIC講習を実施し、英会話力向上を図った。

(2) 募集対策強化策に関する取組み

- ① オープンスクールの内容を工夫し、本校ホームページに紹介動画の掲載や、スマートフォン対応とすることで、コースの学びの充実、特色ある教育内容等をアピールした。その結果、オープンスクールの来場者数は5,249名から5,679名へ430人増加した。
入学者数は、505名となり、本年度もの大阪府下の私立女子校では第1位となった。

(3) 退学の減少と課外活動の活性化に向けた取組み

- ① 「生徒一人ひとりを大切にする」、「転退学者を出さない」という全教職員の姿勢のもとで、サポートルームの活用とカウンセリング協議会の個別生徒対応が効果を上げ、転退学者は1.9%に抑制することができた。
- ② 外部コーチによる指導の充実等により、吹奏楽部、コーラス部、ギターマンドリン部、軽音楽部で入賞する等生徒が著しく活躍した。

3. 大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

(1) 「7つの特徴を柱にした教育活動」による特色ある保育活動内容充実の取組み

- ① 音楽、造形表現、運動等の遊びや自然体験学習の強化による心身の健全性をめざした保育内容を充実させた。
- ② 動植物と関わる環境を整備した。
- ③ 家庭との連携による食育等健康に関するプログラムを実施した。
- ④ 警察署、消防署による教職員の安全研修と避難訓練の徹底、地震等緊急時の安全確保、連絡体制の確立と保護者への通知等安全プログラムを実施した。
- ⑤ 人権教育等心の教育を実施した。

(2) 「学園内での効果的な連携推進」の取組み

- ① 大学・短期大学教員によるスポーツ指導や造形指導を実施した。
- ② 短期大学教員によるPTA料理講習会を実施した。

(3) 「地域連携強化」の取組み

- ① 地域の小学校への見学や中学校生徒の体験学習の受け入れ等近隣教育機関と連携した活動を実施した。
- ② 介護福祉施設への慰問、地域子育てサークルへの園庭貸し出し等地域の施設、団体との活動を実施した。

IV. 財務の概要

資金収支計算書

2017 (平成29) 年 4月 1日 から

2018 (平成30) 年 3月31日 まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等内付金収入	6,627,374,000	6,626,297,512	1,076,488
手数料収入	116,645,000	117,411,890	△ 766,890
寄付金収入	98,043,000	98,700,625	△ 657,625
補助金収入	1,581,526,000	1,631,211,238	△ 49,685,238
国庫補助金収入	634,248,000	677,428,000	△ 43,180,000
地方公共団体補助金	947,278,000	953,783,238	△ 6,505,238
資産売払収入	425,000	425,000	0
附属事業・収益事業収入	66,399,000	68,725,254	△ 2,326,254
受取利息・配当金収入	528,000	491,313	36,687
雑収入	194,254,000	203,943,162	△ 9,689,162
借入金等収入	1,683,000,000	1,683,900,000	△ 900,000
前受金収入	2,221,959,000	2,369,164,998	△ 147,205,998
その他の収入	138,071,000	142,416,740	△ 4,345,740
資金収入調整勘定	△ 2,227,239,000	△ 2,255,673,965	28,434,965
前年度繰越支払資金	4,782,187,000	4,782,187,809	△ 809
収入の部 合計	15,283,172,000	15,469,201,576	△ 186,029,576
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	4,913,552,000	4,914,527,901	△ 975,901
教育研究経費支出	1,910,374,000	1,852,835,024	57,538,976
管理経費支出	735,805,000	683,496,309	52,308,691
借入金等利息支出	55,367,000	54,073,531	1,293,469
借入金等返済支出	490,078,000	490,078,000	0
施設関係支出	1,661,111,000	1,661,106,726	4,274
設備関係支出	462,050,000	451,834,602	10,215,398
資産重用支出	150,000,000	150,000,000	0
その他の支出	872,782,000	891,665,380	△ 18,883,380
予備費	0		0
資金支出調整勘定	△ 594,571,000	△ 798,669,052	204,098,052
翌年度繰越支払資金	4,626,624,000	5,118,253,155	△ 491,629,155
支出の部 合計	15,283,172,000	15,469,201,576	△ 186,029,576

活動区分資金収支計算書

2017（平成29）年4月1日から

2018（平成30）年3月31日まで

（単位：円）

科 目		金額
教育活動による資金収支	収入	
	学生生徒等納付金収入	6,626,297,512
	手数料収入	117,411,890
	特別寄付金収入	31,168,770
	一般寄付金収入	64,412,272
	経常費補助金収入	1,626,088,238
	不償還運動収入	68,725,254
	雑収入	203,793,162
	教育活動資金収入計	8,737,897,098
	支出	
	人件費支出	4,914,527,901
	教育研究経費支出	1,852,835,024
	管理経費支出	683,460,209
	教育活動資金支出計	7,450,823,134
差引	1,287,073,964	
調整勘定等	132,136,760	
教育活動資金収支差額	1,419,210,724	
施設整備等活動による資金収支	科 目	金額
	収入	
	施設運営備付金収入	3,119,583
	施設運営補助金収入	5,123,000
	施設運営売上収入	425,000
	施設整備等活動資金収入計	8,667,583
	支出	
	施設買系支出	1,661,106,726
	設備買系支出	451,834,602
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	150,000,000
	施設整備等活動資金支出計	2,262,941,328
差引	△2,254,273,745	
調整勘定等	△62,747,678	
施設整備等活動資金収支差額	△2,317,021,423	
小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）	△897,810,699	
その他の活動による資金収支	科 目	金額
	収入	
	借入金等収入	1,683,900,000
	貸付金回収収入	2,231,421
	預り金受入収入	4,484,792
	小計	1,690,616,213
	受取利息・酒当金収入	491,313
	過年度修正収入	150,000
	その他の活動資金収入計	1,691,257,526
	支出	
	借入金等返済支出	490,078,000
	修学旅行費等預り金支払支出	12,851,031
	小計	502,929,031
	借入金等利息支出	54,073,531
	過年度修正支出	36,100
	その他の活動資金支出計	557,038,662
	差引	1,134,218,864
調整勘定等	99,657,181	
その他の活動資金収支差額	1,233,876,045	
支払資金の増減額（小計 + その他の活動資金収支差額）	336,065,346	
前年度繰越支払資金	4,782,187,809	
翌年度繰越支払資金	5,118,253,155	

事業活動収支計算書

2017 (平成29) 年4月1日から
2018 (平成30) 年3月31日まで

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	6,627,374,000	6,626,297,512	1,076,488
		手数料	116,645,000	117,411,890	△ 766,890
		寄付金	94,924,000	95,581,042	△ 657,042
		経常費等補助金	1,581,526,000	1,626,088,238	△ 44,562,238
		国庫補助金収入	634,248,000	672,305,000	△ 38,057,000
		地方公共団体補助金	947,278,000	953,783,238	△ 6,505,238
		什販事業収入	66,399,000	68,725,254	△ 2,326,254
		雑収入	194,104,000	203,804,684	△ 9,700,684
		教育活動収入計	8,680,972,000	8,737,908,620	△ 56,936,620
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算
人件費	4,853,058,000			4,848,658,084	4,399,916
教育研究経費	2,533,557,000			2,477,579,889	55,977,111
管理経費	786,876,000			734,531,379	52,344,621
徴収不能債等	1,000,000			0	1,000,000
教育活動支出計	8,174,491,000			8,060,769,352	113,721,648
教育活動収支差額		506,481,000	677,139,268	△ 170,658,268	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	528,000	491,313	36,687
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計		528,000	491,313	36,687
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	55,367,000	54,073,531	1,293,469
その他の教育活動外支出		0	0	0	
教育活動外支出計		55,367,000	54,073,531	1,293,469	
教育活動外収支差額		△ 54,839,000	△ 53,582,218	△ 1,256,782	
経常収支差額		451,642,000	623,557,050	△ 171,915,050	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	0	41,750	△ 41,750
		その他の特別収入	7,351,000	13,160,314	△ 5,809,314
	特別収入計		7,351,000	13,202,064	△ 5,851,064
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	69,190,000	75,245,247	△ 6,055,247
その他の特別支出		0	36,100	△ 36,100	
特別支出計		69,190,000	75,281,347	△ 6,091,347	
特別収支差額		△ 61,839,000	△ 62,079,283	240,283	
予備費		0		0	
基本金繰入前当年収支差額		389,803,000	561,477,767	△ 171,674,767	
基本金繰入額合計		△ 920,723,000	△ 690,383,725	△ 230,339,275	
当年収支差額		△ 530,920,000	△ 128,905,958	△ 402,014,042	
前年繰越収支差額		△ 11,624,008,000	△ 11,624,007,808	△ 192	
基本金解消額		0	0	0	
翌年繰越収支差額		△ 12,154,928,000	△ 11,752,913,766	△ 402,014,234	
(参考)					
事業活動収入計		8,688,851,000	8,751,601,997	△ 62,750,997	
事業活動支出計		8,299,048,000	8,190,124,230	108,923,770	

貸借対照表

平成30年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	24,584,724,955	23,070,689,136	1,514,035,819
有形固定資産	24,362,324,232	22,987,282,717	1,375,041,515
土地	10,252,249,812	10,252,249,812	0
建物	9,156,110,836	7,639,722,326	1,516,388,510
その他の有形固定資産	4,953,963,584	5,095,310,579	△ 141,346,995
特定資産	170,360,956	20,360,956	150,000,000
その他の固定資産	52,039,767	63,045,463	△ 11,005,696
流動資産	5,219,708,865	4,928,751,456	290,957,409
現金預金	5,118,253,155	4,782,187,809	336,065,346
その他の流動資産	101,455,710	146,563,647	△ 45,107,937
資産の部合計	29,804,433,820	27,999,440,592	1,804,993,228
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	5,590,642,332	4,521,398,757	1,069,243,575
長期借入金	4,147,379,000	3,013,557,000	1,133,822,000
その他の固定負債	1,443,263,332	1,507,841,757	△ 64,578,425
流動負債	4,009,199,083	3,834,927,197	174,271,886
短期借入金	537,578,000	477,578,000	60,000,000
その他の流動負債	3,471,621,083	3,357,349,197	114,271,886
負債の部合計	9,599,841,415	8,356,325,954	1,243,515,461
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	31,957,506,171	31,267,122,446	690,383,725
第1号基本金	31,288,506,171	30,748,122,446	540,383,725
第2号基本金	150,000,000	0	150,000,000
第4号基本金	519,000,000	519,000,000	0
繰越収支差額	△ 11,752,913,766	△ 11,624,007,808	△ 128,905,958
翌年度繰越収支差額	△ 11,752,913,766	△ 11,624,007,808	△ 128,905,958
純資産の部合計	20,204,592,405	19,643,114,638	561,477,767
負債及び純資産の部合計	29,804,433,820	27,999,440,592	1,804,993,228

学校法人大阪成蹊学園 財務比率経年比較

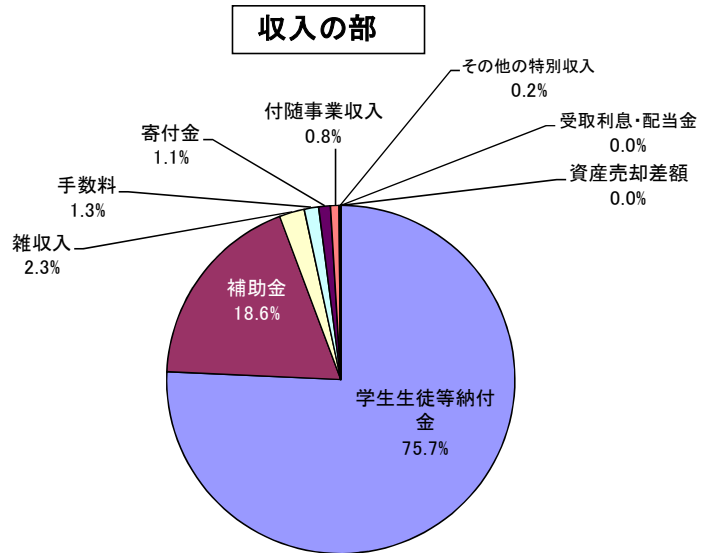
	数式 × 100	平成 25年度 決算	平成 26年度 決算	平成 27年度 決算	平成 28年度 決算	平成 29年度 決算
人件費比率	人件費 — 經常収入	57.7%	55.8%	57.0%	57.7%	55.5%
教育研究経費比率	教育研究経費 — 經常収入	27.9%	26.6%	26.5%	27.2%	28.4%
管理経費比率	管理経費 — 經常収入	8.4%	8.3%	8.5%	7.7%	8.4%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 — 經常収入	73.2%	75.3%	76.2%	75.9%	75.8%
寄付金比率	寄付金 — 事業活動収入	1.6%	1.0%	1.0%	1.2%	1.2%
補助金比率	補助金 — 事業活動収入	19.7%	19.9%	21.7%	19.1%	18.6%
基本金組入率	基本金組入額 — 事業活動収入	13.6%	10.5%	16.2%	7.3%	7.9%
減価償却額比率	減価償却額 — 經常支出	9.0%	8.9%	8.8%	8.2%	8.3%

■平成29年度事業活動収支決算科目別割合

1. 収入の部

(千円以下切捨)

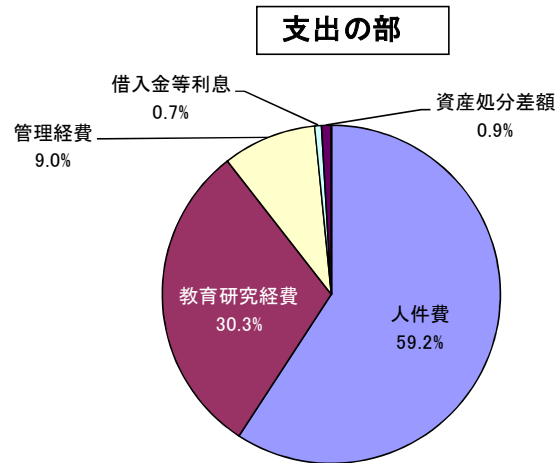
科目	決算額
学生生徒等納付金	6,626,297千円
経常費等補助金	1,626,088千円
雑収入	203,804千円
手数料	117,412千円
寄付金	95,581千円
付随事業収入	68,725千円
その他の特別収入	13,160千円
受取利息・配当金	491千円
資産売却差額	41千円
事業活動収入合計	8,751,601千円



2. 支出の部

(千円以下切捨)

科目	決算額
人件費	4,848,658千円
教育研究経費	2,477,579千円
管理経費	734,531千円
借入金等利息	54,073千円
資産処分差額	75,245千円
徴収不相当戻等	0千円
事業活動支出合計	8,190,124千円



学校法人会計の特徴及び企業会計との違い

学校法人が学校経営を行う目的は、教育・研究を推進することで、人材を育成すると共に「研究種施社会」を還元することである。学校法人も企業も経済活動を営んでいる点では同じだが、企業は利益の追求を目的としているが、学校法人は教育・研究種施を目的としている。財源構成的にも、企業はものを「生産・販売」して「売上」を得るが、学校法人は収入の8割が期初の途中で自由に増減することや、職員・学生生徒等からの入学金や授業料、国や地方公共団体からの補助金で構成されており、支出面でも教育・研究の発展のために支出を削減することや、職員への給与削減である。

企業会計との基本的体系的違いとして、学校法人会計は「企業会計」ではなく「資金収支計算書」の存在と、教育と、公益性の強、事業を行う法人のため、その公益性を重視したことから基本金という概念が導入されている。

国や地方公共団体から補助金を交付される学校法人は「学校法人会計基準」に従ってこれを表示する計算書類を作成し、所轄庁に届出ることや監査を受けることとなっている。

1. 資金収支計算書

- ①当該会計年度の活動に関する全ての資金の収入及び支出の内容を明らかにする。
- ②諸活動の対応関係に即座ならず、現実に即座し、まづは支払った資金の収入及び支出について、その真実を明らかにする。

2. 活動区分資金収支計算書

- ①資金収支計算書の決算総括の活動区分ごとく区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにする。(企業会計ではキャッシュフロー計算書に相当する。)

3. 事業活動収支計算書

- ①当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状況を明らかにする(企業会計では損益計算書に相当するが、学校法人は営利目的ではなく、収支均衡を目的とする。)

4. 貸借対照表

当該年度末における財政状態(運用状況と資産源泉)を明らかにする。

V. 学生数・教職員数データ

1. 志願者数及び入学者数 (単位:人)

●大阪成蹊大学

年度	学部 学科	マネジメント学部			芸術学部	教育学部	大学院
		マゼンタ学科	ボツマゼンタ学科	国際観光ビジネス学科			
28	入学定員	90	90		177	120	
	志願者数	238	247		225	633	
	入学者数	90	109		183	129	
		3			2	4	
29	入学定員	90	90		177	120	
	志願者数	289	317		270	810	
	入学者数	93	111		191	122	
		4			1		
30	入学定員	70	110	60	177	180	5
	志願者数	330	250	191	270	1043	7
	入学者数	86	120	61	195	195	7
		1			1	5	

下段は03年次編入(外数)

※平成27年度より芸術学部情報デザイン学科・環境デザイン学科を募集停止し、美術学科から名称変更した造形芸術学科に各学科を統合
 ※平成28年度よりマネジメント学部スポーツマネジメント学科を設置
 ※平成30年度よりマネジメント学部国際観光ビジネス学科を設置

●びわこ成蹊スポーツ大学

年度	学部	スポーツ学部	大学院
28	入学定員	360	10
	志願者数	739	4
	入学者数	368	4
29	入学定員	360	10
	志願者数	657	8
	入学者数	374	8
30	入学定員	360	10
	志願者数	766	5
	入学者数	418	5

下段は03年次編入(外数)

●大阪成蹊短期大学

年度	学科	幼児教育学科	観光学科	グローバルコミュニケーション学科	経営会計学科	生活デザイン学科	調理・製菓学科	栄養学科	合計
28	入学定員	300	90	30	50	50	120	120	760
	志願者数	353	105	43	54	58	148	143	904
	入学者数	282	88	32	48	49	129	116	744
29	入学定員	300	90	30	50	50	120	120	760
	志願者数	446	136	48	98	86	199	165	1,178
	入学者数	302	102	28	55	60	134	122	803
30	入学定員	300	90	30	50	50	120	120	760
	志願者数	359	147	70	103	77	146	119	1,021
	入学者数	297	103	34	59	52	126	91	762

●大阪成蹊女子高等学校

年度	学科	普通科				美術科	合計
		キャリア特進コース	キャリア進学コース	幼児教育コース	スポーツコース		
28	募集定員	30	140	80	30	60	340
	志願者数	180	629	367	63	245	1,484
	入学者数	55	282	191	41	119	688
29	募集定員	30	150	90	30	60	360
	志願者数	129	552(1)	274	54	206	1,215(1)
	入学者数	42	235(1)	147	27	98	549(1)
30	募集定員	30	150	90	30	60	360
	志願者数	117	497	308	89	168	1,179
	入学者数	50	170	154	56	75	505

()内は02年生への転入(外数)

※学期定員(収容定員)は1833名

※平成29年度より募集定員を340名から360名に変更

●こみち幼稚園

年度	募集定員	志願者数	入園見込
28	90	78(5)	71(5)
	90	76(2)	73(2)
	90	62(6)	62(6)
29	90	76(2)	73(2)
	90	62(6)	62(6)
	90	62(6)	62(6)
30	90	62(6)	62(6)
	90	62(6)	62(6)
	90	62(6)	62(6)

()内は14歳5歳児の計(外数)

2. 在籍学生等数 (単位:人)

●大阪成蹊大学

学部		マネジメント学部		芸術学部				教育学部	大阪成蹊大学 計	
学科		マネジメント学科	スポーツマネジメント学科	情報デザイン学科	環境デザイン学科	美術学科	造形芸術学科	計		教育学科
1回生	28年度	90	109	/	/	/	183	183	129	511
	29年度	93	111	/	/	/	191	191	122	517
2回生	28年度	184	/	/	/	/	176	176	118	478
	29年度	86	104	/	/	/	172	172	127	489
3回生	28年度	182	/	137	21	27	/	185	118	485
	29年度	176	/	/	/	/	165	165	119	460
4回生	28年度	154	/	116	28	25	/	169	/	323
	29年度	194	/	149	27	30	/	206	117	517
合計	28年度	610	109	253	49	52	359	713	365	1,797
	29年度	549	215	149	27	30	528	734	485	1,983

※平成27年度より芸術学部情報デザイン学科・環境デザイン学科を募集停止し、美術学科から名称変更した造形芸術学科と各学科を統合
 ※平成28年度よりマネジメント学部スポーツマネジメント学科を設置

●ひつ成蹊スポーツ大学

学部		スポーツ学部			大学院	合計
学科		スポーツ学科		計		
		生涯スポーツ学科	競技スポーツ学科			
1年次生	28年度	368		368	4	/
	29年度	374		374	8	/
2年次生	28年度	345		345	10	/
	29年度	355		355	4	/
3年次生	28年度	147	181	328	/	/
	29年度	331		331	/	/
4年次生	28年度	153	200	353	/	/
	29年度	149	196	345	/	/
合計	28年度	/	/	1,394	14	1,408
	29年度	/	/	1,405	12	1,417

※平成27年度よりスポーツ学部生涯スポーツ学科・競技スポーツ学科募集停止、スポーツ学科を開設

●大阪成蹊短期大学

学科		総合生活学科	幼児教育学科	観光学科	グローバルコミュニケーション学科	経営会計学科	生活デザイン学科	調理・製菓学科	栄養学科	合計
1回生	28年度	4	284	88	34	48	49	129	116	752
	29年度	0	305	102	29	55	61	134	122	808
2回生	28年度	248	252	84	34	50	/	/	/	668
	29年度	7	272	85	32	48	48	125	110	727
合計	28年度	252	536	172	68	98	49	129	116	1,420
	29年度	7	577	187	61	103	109	259	232	1,535

※平成28年度より総合生活学科を募集停止し、生活デザイン学科、調理・製菓学科、栄養学科を設置

●大阪成蹊女子高等学校

学科/コース	普通科						美術科	合計	
	キャリア特進コース	キャリア進学コース	美術・イラスト・アニメーションコース	幼児教育コース	スポーツコース	合計			
1年生	28年度	55	282	/	191	42	570	119	689
	29年度	42	236	/	147	27	452	99	551
2年生	28年度	26	196	60	121	33	436	/	436
	29年度	47	281	/	190	40	558	112	670
3年生	28年度	25	206	73	170	32	506	/	506
	29年度	25	196	59	118	31	429	/	429
合計	28年度	106	684	133	482	107	1,512	119	1,631
	29年度	114	713	59	455	98	1,439	211	1,650

※平成28年度より美術科を設置

●こみち幼稚園

園児		
3歳児	28年度	71
	29年度	73
4歳児	28年度	78
	29年度	68
5歳児	28年度	97
	29年度	79
合計	28年度	246
	29年度	220

3. 教職員数

区分			大阪成蹊大学				大学・短大 各本部	びわこ成蹊 スポーツ 大学	大阪成蹊 短期大学	大阪成蹊 女子高等 学校	こみち 幼稚園	法人	合計
			理学部 工学部	芸術学部	教育学部								
専任	教員	28年度	34	25	21	80	0	52	66	71	16	0	285
		29年度	38	26	20	84	0	55	70	79	16	0	304
	職員	28年度	0	0	0	0	74	31	0	10	2	22	139
		29年度	0	0	0	0	75	37	0	10	2	24	148
	計	28年度	34	25	21	80	74	83	66	81	18	22	424
		29年度	38	26	20	84	75	92	70	89	18	24	452
非常勤教員		28年度	29	53	33	115	0	24	111	45	1	0	296
		29年度	28	51	38	117	0	22	110	44	0	0	293
嘱託・臨時職員等		28年度	1	8	1	10	35	23	23	6	0	7	104
		29年度	2	7	2	11	29	23	24	5	0	6	98
合計		28年度	64	86	55	205	109	130	200	132	19	29	824
		29年度	68	84	60	212	104	137	204	138	18	30	843